

平成20年5月28日発行

## コンサドーレ旭川、啓北開幕戦を落とす。 平成20年度第2回北海道カブスリーグU-15

平成20年度第2回北海道カブスリーグU-15は、5月17日札幌サッカーアミューズメントパークで開幕しました。道内トップの8クラブと中体連杯2の計10チームが総当たり1回戦のリーグで覇権を争います。旭川地区からはコンサドーレ旭川ユースU-15と啓北中学校が出場。開幕戦ではともに健闘しましたが1対0で落としました。

第1節 5月17日(土) S S A P天然芝

### 旭川啓北中0-1(0-0)DHOTOジュニアユース

得点者 29(40分)(D)

啓北 GK永井 DF酒井, 茂木, 高橋竣, 干場 MF藤村, 保田, 山内, 西根(齋藤) FW藤原, 笠原

啓北のカブス開幕戦は全道フットサル2008優勝チームのDHOTOジュニアユースだった。序盤は啓北も健闘。6分には酒井のパスから山内が抜け出しあわやというシュートを放つ。しかし、次第に(11)を起点にボールを支配するDHOTOが優勢となる。中盤から飛び出してくる(10), (23)をつかまえきれず、両サイドからピンチを招き出す。8分には(10)に右サイドを突破を許し、9分には(5)にシュートを放たれる。そして14分には中央で(5)が右の(29)とリターンパスから決定的なシュートを放つ。しかし、茂木の捨て身のスライディング、高橋竣のインターセプトなどからなんとかこの時間帯をしのいだ啓北にも徐々にチャンスが訪れる。17分、藤村が右サイドから中央へパス。一旦は相手DFにカットされたが、こぼれ球を拾った保田が左サイドをフリーで走る西根にスルーパス。西根はドリブルから強烈なシュートを放つが、惜しくも相手GKのファインセーブにあう。しかし、試合はまだまだDHOTOペース。23分には(11)のパスからDFの背後を(23)につかれ、こぼれ球を(5)がダイレクトでシュート。GK永井が反応良くこのピンチを防いだ。30分過ぎにはDHOTOの猛攻にあい、防戦一方。ズルズルとラインを下げられる。DFラインの裏に出されるボールに対処しきれず、クリアも相手MFに拾われ二次攻撃、三次攻撃を受ける。しかし、啓北も必死の守りで何とかこの時間帯を防ぎきる。

後半開始直後の17秒。啓北はキックオフのボールを(29)にカットされる。(29)はそのままドリブルでペナルティエリアに進入され先制点を決められる。1点を追う対場になった啓北は次第にリズムをつかみ出す。8分には藤村が右サイドに回り込んだ山内にスルーパス。折り返すが藤原にわずかに合わない。さらに、その流れから高橋竣が山内にフィードしチャンスをつかむ。このように、中盤でのボール支配率が高まり、スピードに乗った攻撃でチャンスを作り出す。中盤の底では保田が左右に配球し、ゲームを落ち着かせる。右サイドの藤村、左サイドの西根もフリーとなる場面も多くなり、DHOTOの運動量も落ち始める。15分には笠原、藤原がシュートを放つなどフィニッシュに至るようになる。16分には山内から西根にパス。西根の折り返しを山内がシュートを放つが惜しくもはずれる。さらに20分には藤原が粘り強くボールをキープ。GKとDFの中間にボールを送ったところ、飛び出した山内がシュートを放つがパーに嫌われる。DHOTOも25分右からのクロスからヘッドシュートを放つが、攻撃が単発となる完全に啓北がゲームを支配する。26分には高橋竣の縦へのフィードに反応した藤原のシュートもわずかに外れる。残り12分となったところで、啓北は酒井を左サイドにあげ、ゴールをこじ開けようとする。32分には酒井の右CKが風に乗ってゴールかと思われたが相手DFがゴールライン上でクリアする。その後左サイドのスペースをつき、酒井が何度もチャンスを作るが、得点には至らず。後半猛攻撃をしかけた啓北だが、フィニッシュに精度を欠き、惜しくも勝ち点を落とした。

### コンサドーレ旭川0-1(0-1)SSSジュニアユース

得点者 S S S (14分)

コンサ GK今岡 DF石井(後藤), 伊藤, 成田, 田中 MF吉本, 中澤, 玉田, 河原(高橋) FW山下, 武井(岸本)

立ち上がりからSSSがボールを支配し、前線に当たったボールをMFがワンタッチで裏

を狙う展開。コンサ旭川DF伊藤・成田が身体を張ってSSSの攻撃を防ぐが、6分にゴール前の混戦からフリーでシュートを打たれる。しかし、GK今岡がナイスセーブで事なきを得る。14中央を突破されかかると、コンサDFが思わずファール。ゴール正面ペナルティエリアをすぐ出たところでFKを与えてしまう。5枚の壁を作ったが、左足でキックされたボールはゴール右上角へきれいな弧を描きゴールイン。GK今岡もよく反応したがボールに触れることさえできない完璧なFKであった。失点后コンサ旭川の動きが激しくなり攻撃に転じる。29分、ゴール前でボールを受けたFW山下が走りこんでくるMF中澤にバックパス。中澤のミドルシュートは惜しくもゴール左にそれる。35分今度はSSSが右サイドからのクロスを入れると、コンサDFが慌ててクリアミス。GKの目の前でフリーシュートを打たれるが、幸運にもボールは枠を外れる。前半は0-1のまま終了。両チームともシュート数が少なく、DF陣の動きが目立った。

後半立ち上がり、早い時間に追いつきたいコンサ旭川は積極的な動きを見せ、再び山下がゴール前でボールをキープしDFをひきつけてパ。走りこんだフリーの玉田がダイレクトでシュートを放つが、相手GKのナイスセーブに阻まれてしまう。絶好の同点機を逃してしまい、徐々にSSSペースとなる。その後7本のシュートを受けるも、GK今岡を中心にDF陣が踏ん張り無失点。しかしながら、コンサ旭川も中澤によるミドルシュート1本のチャンスしかなく、最後までSSSゴールを割ることができず、カブスリーグデビュー戦は痛い黒星となった。

その他の結果

コンサドーレ札幌ユースU-15 19-0 札幌市立あいの里東中学校

札幌ジュニアFCユース 1-2 ユニオンジュニアユース

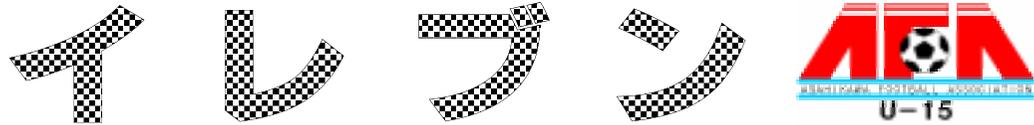
スプドイーグルFC函館 1-3 アンフィニMAKI.FC

## 2008年度トレセン強化指定選手の発表

技術委員会より、2008年度トレセン強化指定選手が発表されました。女子4名を含む77名が発表されました。今後、ブロックトレセンを始めとして、基本的に1週間に1度活動していきます。トレセン選手には旭川を代表する選手として、マナー、プレー面での一層の活躍を期待しています。

2008年度 第 期(5月28日から8月31日まで)

U - 13		U - 14		U - 15	
GK 石川 竜也(永山)	GK 黒田 広樹(明星)	GK 青田 紘幸(緑が丘)			
GK 大屋 敦司(広陵)	GK 根本 浩樹(東神楽)	GK 岡泉 陽介(附属)			
GK 高石 晃次(東陽)	GK 永井 建次(啓北)	GK 喜多 隼世(広陵)			
GK 山下 創太(東光)	GK 畠山 裕紹(北門)	FP 荒川 翔太(緑が丘)			
FP 石川 廉弥(春光台)	FP 阿部 恵輔(附属)	FP 大橋 浩季(愛宕)			
FP 植村 拓哉(永山)	FP 稲田 拓馬(北門)	FP 近江 浩文(緑が丘)			
FP 大森 響介(明星)	FP 植松 正輝(港南)	FP 越智 伸之(愛宕)			
FP 鹿野 純汰(明星)	FP 江頭 学(東光)	FP 楠 兼一(附属)			
FP 倉田 悠平(羽幌)	FP 小澤太志郎(神楽)	DF 斎藤 一也(中富良)			
FP 斎藤 喬(永山)	FP 猪川 智博(緑が丘)	FP 酒井 翔大(啓北)			
FP 酒井 賢斗(緑が丘)	FP 猪又 陸(永山南)	FP 志摩 麗太(永山)			
FP 佐々木 祐哉(北門)	FP 大平 光貴(緑が丘)	FP 首藤 陸登(神楽)			
FP 鮫澤 聖也(緑が丘)	FP 大田 純輝(明星)	FP 鈴木健太郎(北門)			
FP 篠原 佑太(緑が丘)	FP 加賀美 涉(東光)	FP 高橋 竣也(啓北)			
FP 菅原 健(北門)	FP 菅原 宏太(啓北)	FP 高橋 佑輝(永山南)			
FP 高橋 佑気(北門)	FP 倉橋 仁司(東神楽)	FP 田中 研造(広陵)			
FP 高畑 航(東川)	FP 五島 隆允(東光)	FP 中島 一(緑が丘)			
FP 竹内 翔(広陵)	FP 田中 伸明(東光)	FP 深川 敬史(広陵)			
FP 田中 歩(東川)	FP 田端真一郎(緑が丘)	FP 松岡 史記(広陵)			
FP 中野 湧(附属)	FP 富樫 拓郎(広陵)	FP 宮下 隆介(緑が丘)			
FP 荻野 晃司(永山)	FP 豊田 将史(緑が丘)	FP 柳原 慎之(六合)			
FP 半田 拓也(永山)	FP 中里 慶斗(六合)	FP 山内 琢磨(啓北)			
FP 藤原 貴希(永山南)	FP 藤原 翔太(啓北)	FP 山根 健志(志和)			
FP 渡辺 一志(広陵)	FP 保田 基宏(啓北)	FP 綿谷将太朗(神楽)			
FP 江良未由奈(春光台)	FP 山本 真司(永山南)	GK 坂本 葵(永山南)			
FP 中瀬 朱音(北星)		FP 藤村 茉由(啓北)			



平成20年5月28日発行

## コンサドーレ旭川、啓北苦しいスタート！ 平成20年度第2回北海道カブスリーグU-15

平成20年度第2回北海道カブスリーグU-15は、5月24日第2節が行われました。コンサドーレ旭川と啓北中が第1戦に続いて敗れ連敗となり苦しいスタートとなりました。

### 第2節 5月24日(土) SSAP人工芝 コンサドーレ旭川0-1(0-0)札幌ジュニアFC

得点者 札幌ジュニア(67分)

コンサドーレ GK 今岡 DF 石井(吉本), 伊藤, 成田, 田中 MF 阿羅, 中澤(岸本), 玉田, 河原 FW 武井(高木), 山下

これまで旭川の選手が経験したことがないほどの強風の中試合が始まる。風上の前半、立ち上がりから攻め込み、1分も経たないうちにビッグチャンスが訪れる。左サイドでボールを受けたFW山下が右サイドの阿羅へいきなりサイドを変えるロングパス。阿羅がスピードに乗ったドリブルでゴールライン際までボールを運んで、速いグラウンダーのセントリングを出すと、ファーサイドに走りこんだ武井がスライディングシュート。先制点かと思われたがボールは左ポストの外へ。3分にはMF中澤から上がってきた右サイドバックの石井へ横パス。良いタイミングでクロスを上げると、山下がダイビングヘッドで狙うが惜しくもノーゴール。7分今度はFKで中澤が風を利用したロングシュート。GKは意表をつかれて処理できなかったが、残念これも左ポストの外へ流れる。10分には山下のミドルシュートがバーのすぐ上を越えてしまい、いいリズムだった立ち上がり10分間にゴールを割ることができず、次第にゲームは膠着状態となる。35分と36分に山下と中澤がシュートチャンスを得るがこれもゴールの枠を捉えることができず、前半は0:0で折り返す。打たれたシュートは1本だけで終わる。

後半は立ち上がりから圧され気味の展開となる。46分左サイドからクロスを入れられ、ゴール前でドンピシャのヘディングシュートを打たれるが、GK今岡がダイビングの好セーブ。直後山下がミドルシュートを打つチャンスがくるが、これも左に外す。その後はチャンスらしい場面はほとんどなく、ディフェンスで我慢の時間の長くなる。65分、左サイドでFKを取られピンチ。キックされたボールを今岡が何とか処理するが、DFが強風の中処理をもたつきCKとする。危ないボールが入ったかと思われたが、これも強風により今岡の真上で失速してほぼ垂直に落下し、今岡が確実にキャッチし事なきを得る。2分後、ペナルティエリアの角のすぐ外からのFKを与える。そのFKに両チームともボールには触れられず、右ポストの外へ流れるはずのボールが強風にあおられゴールマウス内に吸い込まれ痛恨の失点となる。残り時間必死に反撃を試みるが強風に邪魔されタイムアップとなり連敗スタートとなった。



### 旭川啓北中1-4(0-3)スプレッドイーグルFC函館

得点者 山内(79分)(啓)(9)(2分, 22分), (11)(21分), (10)(59分)

啓北 GK 永井 DF 酒井, 茂木, 高橋峻, 干場 MF 藤村, 保田, 山内, 西根(齋藤) FW 藤原, 笠原

カブス第2戦スプレッドイーグルFC函館戦は強風の中のキックオフとなった。開始早々から啓北はディフェンスラインでの不用意なプレーが目立つ。無防備なドリブル、安易なトラップミス、簡単なパスミスにより、自陣でのボールロストが多くリズムに乗れない。2分DFの中途半端なボールキープが奪われたまらずファウル。ゴール正面18mのFKをスプレッド(9)に直接決められ先制を許す。さらに21分にはハーフウェー付近で横パスをカットされ、逆襲を受ける。左サイドから(5)が中央の(11)にパスを送るとDFが一瞬アプローチが

遅れたところを強烈なシュートを右隅に決められる。そして1分後にはCKからマークがルーズになったところを(9)にニアサイドで合わされあつという間に3点差をつけられる。啓北は風下ということもあり、なかなか形が作れない。31分の酒井のFKから藤原が突進したシュートを放つがふかしてしまい得点できず。耐える前半となった。

後半は風上にたったこともあり、ボールがつながり始める。守備では高橋峻がインターセプトをねらって相手の攻撃の糸口をつぶし、中盤では山内が機能し始める。49分には山内が西根の背後を回り込む長いフリーランニングからクロスボールを入れる。50分には酒井のダイレクトプレーから笠原に渡るなど意図的な攻撃が増え始める。44分ゴール正面でオーバーラップした高橋峻がドリブル。右のフリーの藤原に渡りシュートを放つが左へそれる。しかし、この時間帯に1点を返せなかった啓北に対し、スプレッドは59分、ペナルティエリア手前からゴール前の密集地帯に位置していた(10)にスルーパスが出ると、(10)は中に切れ込みながら左足でトドメをさす4点目をあげる。啓北は酒井を中盤にあげ、何とか1点を返そうとする。77分には茂木のオーバーラップから笠原が左サイドをドリブルで崩し、マイナスのセントリングを送るなどチャンスができるが、一人一人のドリブル頼みの攻撃に陥り、分厚い攻撃に至らない。それでも終了間際の79分茂木が右サイドに位置していた山内に送ると、山内は中へドリブルできれこみ、左足でカブスリーグ初ゴールをあげる。しかし、反撃もここまで。1つのミスでリズムを失う怖さを代償に、慌てずにプレーするスプレッドイーグルの丁寧なサッカーに第2戦も落とす結果となった。



その他の結果

SSSジュニアユース 3-0 DOHTO Jrユース  
コンサドーレ札幌ユースU-15 6-0 ユニオンジュニアユース  
札幌市立あいの里東中学校 0-13 アンフィニMAKI.FC

## 大雪ライオンズクラブ旗のグループ分け

### <1次リーグ>

1. コンサドーレ旭川はJクラブであることからAグループの第1シードに入れる。
2. 啓北中学校はイレブン杯春季リーグに参加していることから、イレブン杯春季リーグの順位に従ってグループに入る。
3. ただし、第8シードとなった場合は第7シードのチームと入れ替える。(コンサドーレ旭川と同一グループとしないため)
4. 各グループ分けは次の通り行う。  
コンサドーレ旭川が8位以上の場合  
グループA コンサドーレ旭川(第1シード), 春季リーグでの第8シード  
グループB 春季リーグでの第2シード, 第7シード  
グループC 春季リーグ第3シード, 第6シード  
グループD 春季リーグ第4シード, 第5シード

残りの枠は

D1チームが該当するプレーオフ勝者チームと、D2の1位チーム計5チームを各グループに抽選で振り分ける。

残りの3チームを振り分ける。

コンサドーレ旭川が9位以下の場合

グループA コンサドーレ旭川(第1シード), 春季リーグでの第8シード

グループB 春季リーグでの第2シード, 第7シード

グループC 春季リーグ第3シード, 第6シード

グループD 春季リーグ第4シード, 第5シード

残りの枠は

D1チームが該当するプレーオフ勝者チームと、D1の8位チーム、D2の1位チームを計5チームを各グループに抽選で振り分ける。

残りの3チームを振り分ける。

各シードはイレブン杯春季リーグでコンサドーレ旭川を除き、上位チームからシード順とする。

### <2次リーグ>

1. 2次リーグの基本的なグループ分けは次の通りとする。  
グループ1 グループA 1位, グループB 2位, グループC 2位, グループD 1位  
グループ2 グループA 2位, グループB 1位, グループC 1位, グループD 2位
2. コンサドーレ旭川と啓北中学校が同一グループになる場合は、1位とならなかったチーム(どちらとも1位の場合は啓北中学校)を、別のグループに移動させる。そして、各グループにおいて、1位チームが同数となるように調整する。または、A, B, C, D単位で1位と2位を移動させる。



